

セーフコミュニティいずみおおつ

第
17
回

事前指導が終了！ 認証取得へ向けて大きな一歩



事前指導で受けた 本市の SC 活動に対する評価（一部）

◎泉大津市の「セーフコミュニティ基金」は素晴らしい取り組み。世界的にも参考になると思う。

◎各対策委員会にいろいろな分野の人が参加している。SC の指標に沿った体制整備ができている。

◎取り組みを検討するうえで何を重点的に行うかがはっきりしている。また、各種データなどの分析も多面的に行われている。

◎他の地域の取り組みも参考に。

◎日本の制度を知らない外国人にもわかるような資料作りを。たとえば「小学生」ではなく「〇歳から〇歳」などとする。



事前指導での講評の様子

泉大津市セーフコミュニティ事前指導を開催しました
10月15・16日、テクスピア大阪にて、セーフコミュニティ事前指導を開催しました。
事前指導は、国際認証取得に向けた本審査を前に、セーフコミュニティの考え方や認証基準に沿った活動が行われているか

を確認するとともに、今後の取り組みをよりよいものにするため実施するものです。
認証審査員でもあるミーガン・ブラザートン氏とワン・シュメイ氏を指導員として迎え、本市の取り組みについてアドバイスをいただきました。
現地視察
各対策委員会報告の間には、「犯罪防止」、「交通安全」に関する現地視察も行いました。
犯罪防止では、防犯カメラ設置記念式典と小学校の下校時刻に合わせた子どもの見守りパトロール、「交通安全」では、幼稚園児を対象に信号機の説明や、買い物体験・ゴーカート乗

今後は、具体的な取り組みを検討していくことになります。
セーフコミュニティ推進自治体も視察に訪れました
今回は、セーフコミュニティに取り組む亀岡市、厚木市、東京都豊島区、松原市、秩父市、郡山市から対策委員会委員や職員の皆さんが出席されました。対策委員会の報告や取り組みを視察するとともに、それぞれの自治体での進め方や取組みなど情報交換もできました。

車を通じて横断歩道の渡り方、安全な歩道の歩き方などを学習する教室を視察しました。
指導員からの講評
指導員の講評では、各対策委員会にさまざまな人が関わり、とてもよい協働ができていることやデータから重点課題、取り組みへとしっかりとした流れがあるなどの評価をいただきました。



助松交通公園で実施した交通安全教室を指導員らが視察

海外の専門家の視点を取り入れ、SC 活動はより盤石に

事前指導は、海外の専門家から日本人とは異なる視点でみていただくことで、私たちが「当然だと思っていたこと」が問題であったり、「仕方がないとあきらめていること」に解決のヒントをくださったたり、取り組みを大きく前進させるよい機会です。一方、海外にも日本と同じような課題があり、その解決に向かって頑張っている様子を知ることができ、世界的な取り組みの一端を担っていることを実感しました。

JISC 代表理事
白石陽子氏のコメント

